

松尾育成会だより

平成13年度
第6号

松尾青少年健全育成会
広報部
(部長 三石隆三)

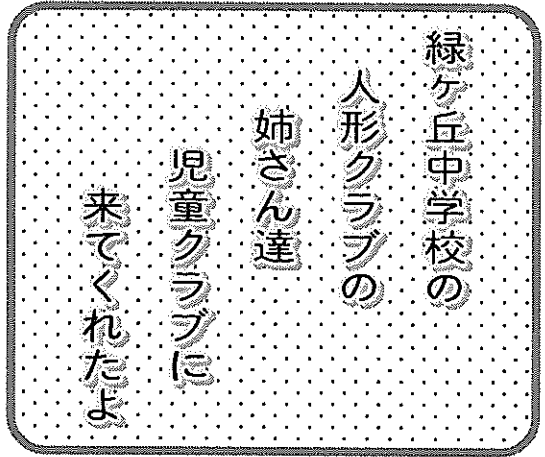


人形劇を見つめる真剣な目



県表彰
柔道クラブ 仁科 保
柔道と子ども

今回松尾地区青少年健全育成会のご推薦頂き、大会会場にて県知事さんより表彰を受け感銘致しております。公民館柔道クラブも昨年三十周年を迎え、こ



緑ヶ丘中学校の
人形クラブの
姉さん達
児童クラブに
来てくれたよ

も楽しい。
私が注連縄を作ろうとした時、
「しめなわは、左なわだよ！」
と、五年生の男の子が話しかけてきた。わらを左へ縛ってゆくのには、高齢者ならではの知識だと思っていた私は驚き、
「ほう、どうして知ったの？」
と感心すると、
「うちのおじいちゃんが教えてくれたの」と言う。
その子の一挙一動を興味深く観察すると、わらの扱い、仕上げたおやすを大事そうに置く様子、後



「左なわだよ！」

松尾地区自治会長

木下 邦 寿

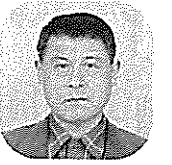
こうして世代をこえた自然なふれあいによって、知らず知らずのうちに、豊かな心を身につけていってほしい。『悪の芽を摘む』のではなく、『芽そのものが出る可能性』を地域ぐるみで断ち切りたい。青少年健全育成会の活動への応援を全地区民にお願いしたい。

毛賀区では毎年、小学校が冬休みになるのを待って、正月の松飾りの「おやす作り」を、高齢者クラブの皆さんに教えていただいている。年一回限りのふれあい行事である。
昨年暮、私も区民会館のお飾りを作るために参加した。子供達やお年寄りの笑顔があふれる中にも真剣なまなざしが特に印象的だ。おやすの出来ばえは、形の整ったものや、すずめの巣のようなものまで様々で、これがまた、ユニークでなんと

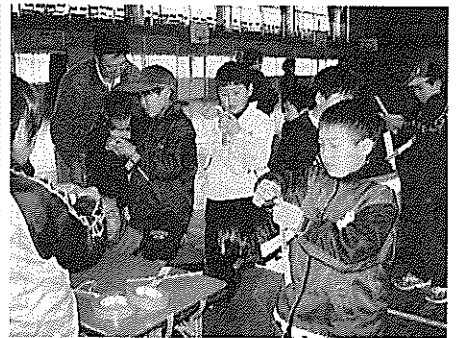
片付けや掃除をする動作等、どれを見ても気持ちがよい。お年寄り、と、しっかり交わって育っている子供はどこかが違う。みやまの知識も自然に身につくものなのだ、と思いを新たにしたい。
今、松尾では福祉施設「ふれあいの郷、松ぼっくり」の建設工事が植音高く、四月の開館に向けて急ピッチに進められている。放課後の子供たちと、お年寄りが楽しく、なごやかにふれあう「夢」が現実のものとなるのである。
また、四月からは学校完全週休二日制が始まる。それに先立ち、青少年健全育成会の皆さんが中心になって子供たちが安全に、健全に過ごせるための「受け皿」作りへの活動を始めていた。だいてるが、難しく大きな課題である。どんな小さな事でも良いので、一つずつ行動に移さねばと思う。それには是非とも「松ぼっくり」をフル活用したいものと願っている。

盛り上がったジャンケンゲームとおもしろ科学教室

育成会行事部長 田中 寛



例年の行事となつて、レクレーションと映画を見る会を、昨年9月16日に行ないました。
レクレーションでは体育指導員の協力を得て、前年度と違いニュースポーツでなくジャンケンによる数種類のゲームをし、全員が楽しく過ごしました。又映画は下伊那視覚協会よりアニメ映画『泣いた赤おに』『ライト兄弟物語』を借用し上映しました。やはり、アニメ映画のほうが子供達には好評のようでした。又おもしろ科学教室は松尾公民館の文化祭の一環として、参加しました。この教室は今回初の試みで心配しましたが、おもしろ科学工房の皆さんに協力してもらい、2月11日に松尾小学校体育館にて行ないました。
内容は子供達に科学に対する興味を持ってもらう様に、身近な道具を使って楽しく実験をしました。まずダンボール箱を加工し、紙コップを倒す空気砲という実験、皆で手をつなぎ静電気を体感する実験をデモンストレーションとして行ないました。その後、各自に材料を渡し道具作りを実験として、超能力振り子と言う共振の実験と



僕のプーラメンうまく飛ぶかな！

育成会表彰

県表彰
柔道クラブ 仁科 保
柔道と子ども



今回松尾地区青少年健全育成会のご推薦頂き、大会会場にて県知事さんより表彰を受け感銘致しております。公民館柔道クラブも昨年三十周年を迎え、こ

市表彰

野球部門 原 勝人



育成会の支部役員として活動している中で表彰を受ける立場となり何か苦しき思っています。
省りみれば三十年前前は各クラブ活動が活発の中取り分け野球は早起き野球を主流に少年野球が各地で産声をあげたものです。当松尾地区に於ても多くの野球指導者に恵られて発足致しました。少年野球も今や飯伊大会は三十六チーム参加するマンモス大会で優勝迄には道程も大変ですが今一步の所迄駒を進めていると思えます。育成会の主旨に沿った正しい言葉使用、あいさつ、そして技術と根気良く指導をして飯伊チャンピオンを目指して欲しいものです。野球を通しての人間作り、こんな事で一助になれば幸いです。
関係者の皆様、ありがとうございます。

バレエボールクラブ 小木曾徹 子どもの笑顔

飯田市青少年健全育成大会に於いての表彰に際し、松尾地区の会長様を始め皆様の御理解と御支援に、深く感謝申し上げます。



私は、中学生時代から、バレエボールを始め、現在指導者として小学生を教えています。確かに、今の子供達は忍耐力に欠けるとよく言われますが、練習、試合等を通じて、初めて試合に出る時、目をキラキラ輝かしている子、失敗しても笑顔で答える子。素直で純粋な心を伸ばしてゆきたいと思えます。
ラグビースクール 上浦 正明
「ノーサイド」

この度、表彰していただき、先輩指導員、及び関係者の皆様方にお礼申し上げます。ラグビーを好きになってほしいと思えます。スポーツを通じて、子供達の健全育成に少しでも役立てられたらと思っております。今後とも、皆様の協力をお願い致します。有難うございました。



この度、表彰していただき、先輩指導員、及び関係者の皆様方にお礼申し上げます。ラグビーを好きになってほしいと思えます。スポーツを通じて、子供達の健全育成に少しでも役立てられたらと思っております。今後とも、皆様の協力をお願い致します。有難うございました。

貴重な体験を

伊勢市中学校と交流

緑ヶ丘中学校生徒会長 三浦 剛



思っていたら、昨年夏、二日間という短い期間で一生の思い出となった交流会が頭をよぎります。キャンプファイヤーやサンドアート、スイカ割り…みんな心の中に焼きつき残されている大切な思い出です。今ではそこで出会った友達と電話で話したり、手紙を送ったり、この交流会を通して本当に貴重な体験をさせて頂きました。これから先も飯田市と伊勢市の関係をより深め、お互いの地をさらに発展させていけたらと思っています。

編集後記

「松尾育成会だより」の本年度後期分、第六号をお届けします。ご協力を頂いた大勢の皆様にお礼申し上げます。広報部長 三石隆三

幸いに、この一月、伊勢市の中学の皆さんをお迎えして、飯田市を見学して頂いたり、スキーの交流をしたりして、素晴らしい触れ合いができて喜んでおります。

期待される 松尾の育成会

公民館長
塩澤 正人



松尾地区は、自然と文化の豊かな地域です。この地域に暮らす児童には、日本一のふるさとを愛する心を育み、世界に羽ばたいていたい。今年四月からは、学校週休二日制が完全実施されるようになり、家庭や地域での生涯教育の在り方が問われており、公民館でも重要課題の一つとなっています。

そうした中で、松尾育成会は青少年連絡協議会の中核的な役割を果たし、健全育成の先頭に立ち、粉塵の活躍していただいていることに、敬意を表します。

とくに、地域の子どもは地域で育てるの意気込みで、週休二日制の対応を、熱心に研究・提案している姿に感謝申し上げます。生涯学習を推進する公民館も、ともどもに青少年の健全育成に努力することをお誓いいたします。

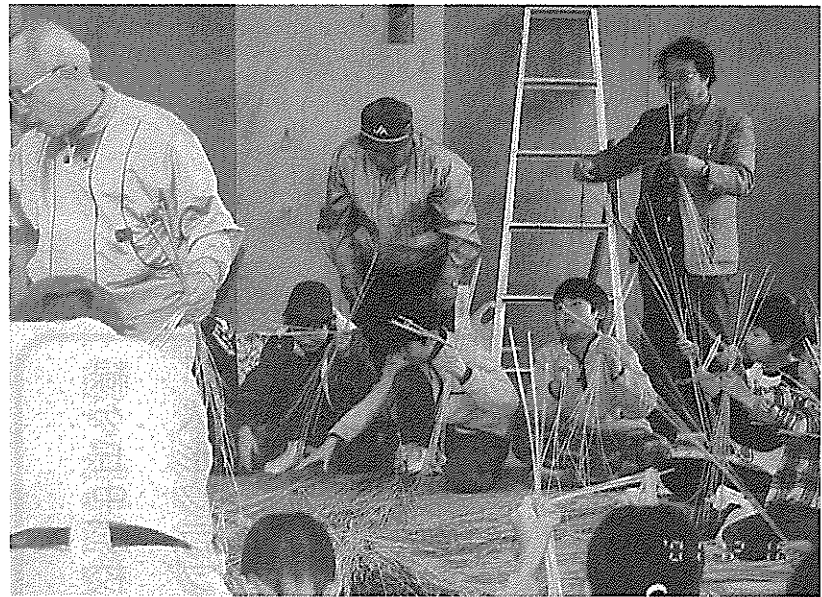


子どもとふれあいながら!!

松尾高齢者クラブ会長 宮澤 芳明



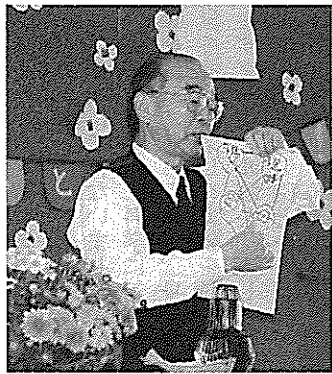
松の緑の香りのする高台の八幡山マレットゴルフ場、子供の頃お平と呼ばれた地籍に着くと成長した松並木が茂って笑顔で出迎えてくれる。今日の四年三組の生徒とマレットゴルフ交流会は一ヶ月



「わりと簡単なんだね!」

程前より計画され、児童たちの到着を待って時間正確に開会ができた。四〇名の生徒は実に元気のよい子供達ばかりで、既に昨年はゲートボールで約二時間、時の経つのも忘れて、無我夢中の交流会が出来た事は大きな収穫で有ったと思います。亦引続いて十二月には正月用縄とオヤス作りを、児童クラブの教室に於て行いました。

育成会報告



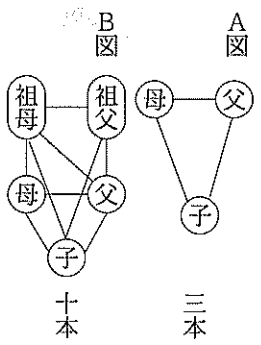
躑講座

場所 東保育園(祖父母参観)
演題 人間関係で育つ子ども
講師 熊谷富士夫(川路)
元・上郷小学校長、
飯田市教育相談員

△熊谷先生のお話の骨子▽

家庭での子どもの回路

(文責・編集部)



祖父母の意義
三人家族では、子どもが接し、また、かいま見る回路は三本なのに、対し、五人家族では十本となる。祖父母が居るといっただけで、子

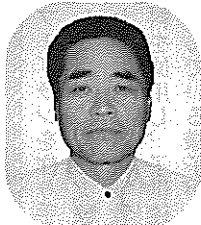
どもの世界は拡がり、交流が増え、生活経験が豊かになる。それだけにとどまらず、
① 子どもの不満を見てくれ
② 叱ることもあり、
③ あるいは甘く、あるいは厳しく、多様に接してくれる。
このように、祖父母の存在は、回路の数だけでなく、質的にも人間関係を豊かにしてくれる。さらに、祖父母自身も子どもの存在に喜び、感激して、生活を豊かにしていると思う。

挨拶運動

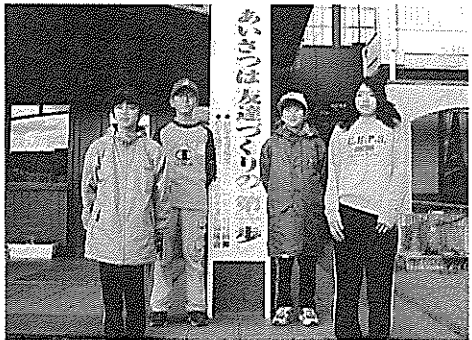
機会あるごとに

大きな声で「あいさつ」を

育成会教養部長 澤口 忠夫



松尾青少年育成会では、教養部の行事として「あいさつ言葉かけ運動」を進めています。この度松尾小学校の協力を得まして、あいさつ言葉かけ運動啓発の一貫として、標語を作っていました。



松尾公民館前に設置された立看板

あいつは 友達作りの 第一歩
六年一組 竹村 裕美
おはようの 言葉一つで 友達に
六年二組 奥田 遼介
ありがとうが人の心をあたためる
六年三組 斎藤 謙二
あいつを すれば明るい街の朝
六年四組 古瀬 司
以上の皆さんの作品です。大変りっぱな作品をありがとうございました。松尾区民の皆さんに見ていただきたく立看板を作りました。松尾支所を始め、各分館を二ヵ月位で回覧させていただきます。あいつは、家庭から、地域から、子供達と心を通わせる優しいシグナルです。子供と大人、大人同士「機会あるごとに、おおきな声であいさつ」をしましょう。



学校五日制・松尾地区の取り組み

青少年健全育成会長 平栗 武



一、取り組みの経過
1、育成会支部長会(二月)

「学校五日制」における松尾地区の取り組みは連絡協議会の協議を待つこととする。
2、育成会支部長会(二月) 対策案を受けて、協力の立場を確認する。
3、健全育成連絡協議会理事会 第一回(七月) 顔合わせ。
第二回(十一月) 方針の模索。
第三回(十一月) 地区と団体に働き掛けることの確認。

松ぼっくりに

元気なあいさつで!!

松尾小学校六年 市瀬 祥



私達、代表委員の当番活動はあいさつをすることです。「おはようございます!」私が声をかけると「おはようございまーす!!」と低学年の子。私もスッキリして気持ちがいいです。まるでエネルギーをもらっているみたい。でも高学年の人はあいつをしても返してくる人が少ないです。あいつをしてくれないと悲しいです。登校・下校途中、授業開始・終了のあいさつだって、元気よくやれば気持ちが良いと思います。まずは自分から一歩前に出て「おはようございまーす!」とみんなが言えるようになります!!「あいつは元気よく!!」みんながこの言葉を持っていてくれるとうれしいです。

〈お礼の手紙〉

高齢者クラブの宮澤芳明さんへ
松尾小学校四年 内山みづきより
宮沢さん、マレットゴルフを教えてくださいありがとうございます。

第四回(二月) 対応案整理。
第五回(二月) 連絡協議会の全体会。対応案発表と討議。
二、対応案模索
1、自治会の動きスタート(十二月)

各地区、区長さんを中心として、区の役員、PTA役員、育成会役員等集まり、「できることは何か」の模索が始まる。
2、各区より活動案集まる(一月)
・今までのPTA活動の確認。
・児童・生徒にかかわる従来の区の活動の確認。
3、公民館活動から
・育成会と体育指導員・面白科学ボランティアとの共催活動。

四月からの活動を前にして、松尾は、自治会の決意のもとに、全区が動き出されたことに大きな意味を持った。今後は公民館活動にも支えられ、かつ、地区皆様の手にも支えられ、これらの活動が動き出せるよう願うものです。
新しい活動故、試行錯誤と改善を積み重ねる必要があります。お声を、支所・清水さん、公民館長さん、育成会まで届けて下さい。

私が一番むずかしかったのは、五ホールでした。宮沢さん、あのホールができますか? 私は力のコントロールができないので、坂を越えられませんか。宮沢さんは上手いですからすごいですね。
また、マレットゴルフをしたいのですがどうですか。
マレットゴルフを教えてください。ありがとうございます。

ドッジボール

松尾小学校五年 飯浜 富圭

「アタック」
友の声にはげまされ力いっぱいボールを投げる。ボールにみんなの気持ちののっかって相手チームにつきささる。「よしもらった。」
「ナイス、キャッチ。」
相手コートから喜びの声が聞こえる。私の心の中に何ともいえないやさが入道雲のようにわいてくる。「惜しい、次はいけるよ。」友の声はやさしい。
こんなドッジボールが私は大好き。